

2023年2月8日

報道関係各位

公立大学法人北九州市立大学

## 浄水ウォーターサーバー設置お披露目会のご案内

### 1. 概要

北九州市立大学には、学生の主体的な地域貢献活動をオーガナイズする地域共生教育センター（通称：421Lab.）があり、今年度は21の学生プロジェクトが活動しております。「KITAQ キャンパス SDGs」はその1団体として、学内のSDGs文化の醸成を目的に、SDGsに関する様々な情報の発信や問題提起等の活動に取り組んでいます。

その活動の一環として、浄水ウォーターサーバーを設置することで、学生や教職員のマイボトル持参を推進し、安全で安心な水へのアクセス（goal:6）、飲料ごみの削減（goal:12）を実現するものです。この取組みに関しては、市内企業の株式会社タカギ様、株式会社寿ホールディングス様と協定を結び（goal:17）、学生の視点と地元企業ならではの発想を融合することで、本学のみならず、北九州市にとっても新たなSDGsの社会実装となり得る取組みであると捉えております。

つきましては、下記のとおり、浄水ウォーターサーバー設置のお披露目会を開催いたしますのでお知らせいたします。



### 2. お披露目会について

日時 2023年2月14日（火）10時00分～11時00分  
場所 北九州市立大学 北方キャンパス 本館1階A-101教室付近  
内容 別添資料のとおり

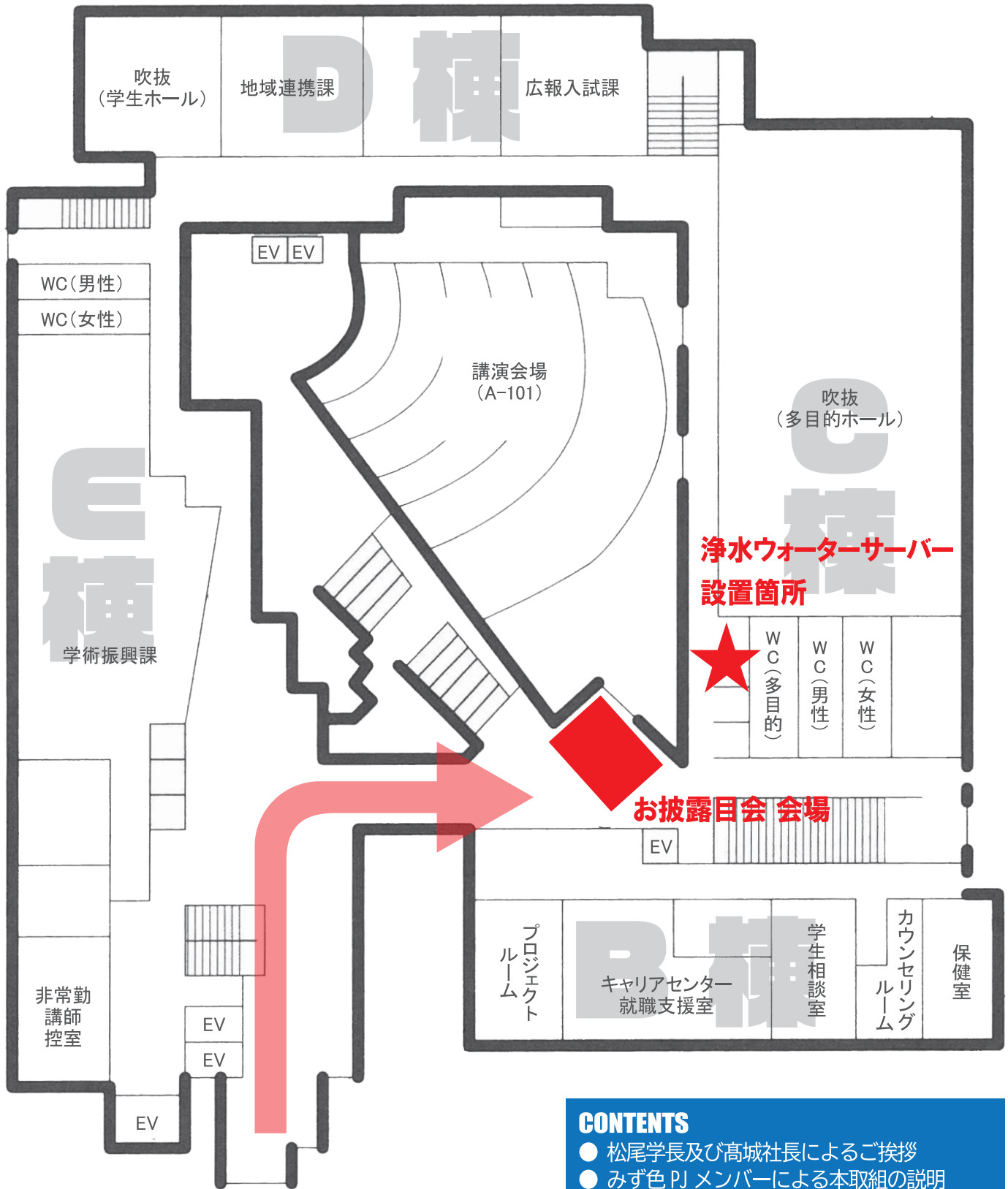
●この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

北九州市立大学 基盤教育センター（資料室） 廣川、永末 電話 093-964-4025  
北九州市立大学 地域連携課地域貢献係 金井 電話 093-964-4194

●大学広報全体に関する報道関係者からのお問い合わせ先

北九州市立大学 広報入試課広報係 小山、徳山 電話 093-964-4196

# 浄水ウォーターサーバー設置お披露目会



## CONTENTS

- 松尾学長及び高城社長によるご挨拶
- みず色PJメンバーによる本取組の説明
- 浄水ウォーターサーバーの「試飲」
- お披露目会参加の皆さんとディスカッション

**日時** 2023年2月14日 (火) 10時～11時

**場所** 北九州市立大学 北方キャンパス 本館1階  
北九州市小倉南区北方四丁目2番1号

**出席者** 高城 いづみ様 (株式会社タカギ 代表取締役社長)

松尾 太加志 (北九州市立大学 学長)

KITAQキャンパスSDGs“みず色PJ”関係者 他

**問合せ** 公立大学法人北九州市立大学

基盤教育センター資料室 093-964-4025 (廣川・永末)

地域連携課地域貢献係 093-964-4194 (金井)

# 北九州市立大学 北方キャンパスに 浄水ウォーターサーバーが登場

## KITAGU キャンパス SDGs・みず色PJとは？

KITAGU キャンパス SDGs は、北九州市立大学地域共生教育センター（通称：421Lab.）に所属する団体の一つで「10年後の北九大を SDGs でより豊かに」をモットーに学生主体で活動をする団体です。「10年後の北九大・北九大生はどうあるべきか？」「自分自身の大学や大学生活をどのようにしたいか？」という問いかけに対して、SDGs の観点を活かしながら、学生自らがアクションを起こすことを重要視しています。

みず色PJは、KITAGU キャンパス SDGs の考えを基にして誕生したプロジェクトで、新型コロナウイルスの影響で給水器が使用できなくなり、水へのアクセスが断たれてしまったことをきっかけに、「キャンパス内のペットボトルゴミを減らし、安心して美味しい水をゲットする」をキャッチコピーに活動しています。ペットボトルゴミの削減、マイボトルの利用促進を目的としており、キャンパス内に無料の浄水ウォーターサーバーを設置し利用してもらうことで、多くの学生の安全で美味しい水へのアクセスを容易にするとともに、マイボトルの持参やペットボトルゴミ削減といった環境面で学生自身の意識を高めようというプロジェクトです。

自ら変わる、水から変える。



## 浄水ウォーターサーバー設置に至るまでの経緯

2022年4月ごろ、大学内をより豊かにするための課題探しの一環で指導教員等とお話しをする中で、株式会社タカギ様の浄水技術を活用できるのでは、というヒントをいただきました。それが私たちの目指したい方向性に合っていたため、タカギ様に協力いただく形で学内への浄水ウォーターサーバー設置を目指すことになりました。

設置実現のためには、タカギ様からの要望を踏まえながら、大学事務局からの許可をいただく必要がありました。7月下旬に大学事務局に対して、本件の企画・提案を対面形式で行い、ご理解とご協力を頂くことができました。その後、タカギ関係者の皆様と設置場所などの検討を定期的に続け、浄水ウォーターサーバー設置に基づく工事にも立ち合わせていただきました。

なお、12月下旬には、一般社団法人森人未来ノ研究所様のご厚意により、タカギ関係者の皆様と浄水ウォーターサーバーに内蔵するカートリッジの活性炭となる竹の伐採体験をさせていただきました。

## これまでの活動を画像で紹介



● 学内設置の協力を得るため、事務局長らにプレゼンテーション。



● 竹伐採の様子です。この後、竹をチップに加工する体験もしました。



● 日々の活動の様子です。私たち学生に教員、タカギ様の面々です。

## 今後の展望について

試作機ではありますが、浄水ウォーターサーバーを設置することができたので、どのくらい使用されたかデータをとること、使用感はどうか、台数を増やしていくためにはどのような取り組みをしたらいいのか、学生たちに認知してもらうために広報活動を行うことを考えています。この浄水ウォーターサーバーを多くの方々に利用してもらい、ウォーターサーバーが私たちにとって欠かせないほど身近なものにすること、それにより大学内のペットボトルゴミを減らし、学生の環境に対する意識を変えることが今後の目標です。